



いすぐみだより



緑がまぶしい5月。子ども達は4月からの新しいお部屋や、新しいお友達にもだいぶ慣れたようです。うさぎ組では座卓でおひざでしたが、りす組では椅子・テーブルになりました。まだ足が床につかないため足台を使用して姿勢を保っています。足が地つかないと、食事の時なども集中できません。トイレトレーニングもこの夏挑戦するお友達もいると思いますが、床に足がつくおまるの使用をお勧めします。

りす組になって出来ることもずいぶん増えていきます。食事前に手をおひざに置いて待つこと（褒められるのを待ってる表情がかわいいです）、食事中・後に口や手を拭く、音を立てて食べない・・・ほかにも手洗いを並んで待つことなど挙げたらきりがありません。大人からみたら小さなことですが、「できた！」という達成感を積み重ねていくことは子どもにとってとても大切なことです。大人がしてあげていたことを少しずつ子どもにやらせ、頑張ってるチャレンジしている時は口を出さずに、そっと見守り、できた時に「できたね！」とたくさん褒めてあげましょう。その後の自信と頑張りにつながります。

この時期は大人の所作や会話もよく観察しています。「なんで〇〇なの？」の質問も矢継ぎ早にきます。子どもの「なあに？」にはできるだけ丁寧に答えてあげましょう。例えばケーキをみて「これなあに？」と聞かれたら「ケーキよ」と一言で返すのではなく「赤いいちごのってるね、甘くて美味しい食べ物で、ケーキって言うんだよ、おばあちゃんがくれたんだよ。」などとおまけをつけると、そこから新たな「なあに？なぜ？」につながっていき、言葉の世界と知識がぐんぐん広がっていきます。子どもの質問があまりに長く続くようなら、「なんでかな？〇〇ちゃんはどう思う？」と聞き返し、子どもに考える時間をあたえてあげてもいいでしょう。少し長い会話の内容でも、最後まで聞く力もついていきますので、理由をいったり説明することも心がけて見てください。おもしろい言葉も生まれる時期ですので、記念に書き留めておくといいかもですね！



たけのこの皮剥きのお手伝い



はなまつり・お釈迦様に甘茶をかけました

●6日は愛情弁当の日です。

●汗をかきやすい季節です。靴はこまめに洗い、清潔に保ちましょう。

●半袖、半ズボンも着替えに入れてください。半袖半ズボンはお着替えがしやすいお洋服。

でもなかには自分で脱ごうとがんばっていますがサイズが小さくて手伝わざるをえない時があります。

なんとか自分で、とがんばっていますが「できない」と残念そうです。脱着のしやすいものをご準備下さい。

